

1 単元名 千葉市の発展につくした人たち

2 単元について

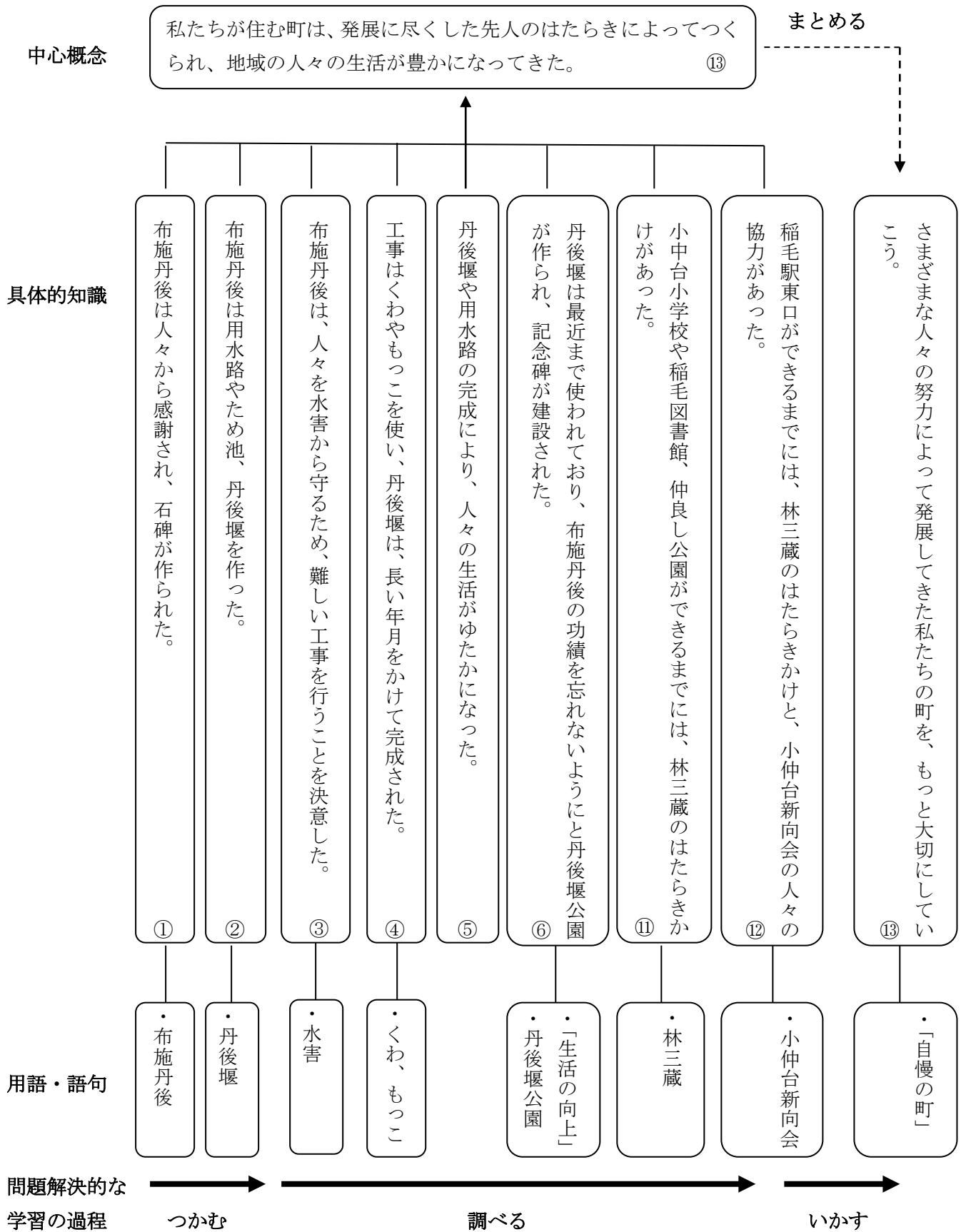
本単元は学習指導要領の目標（2）「地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし、地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。」に該当する単元である。ここでは、内容（5）「地域の人々の生活について、（中略）地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする。」のウ「地域の発展に尽くした先人の具体的事例」を扱う。

小仲台地区は、JR 稲毛駅に近く、交通の便が良い。多くの商店や施設が立ち並び多くの人で賑わっている。また、住宅街の近くには仲よし公園や稲毛図書館もあり、とても暮らしやすい地域といえる。この町は、林三蔵氏をはじめとする小仲台新向会の働きや地域の人々の願いによって、稲毛駅東口の開設、仲よし公園や稲毛図書館、子どもたちの通うこの小中台小学校の建設などが実現してきた経緯をもつ。林三蔵氏は、戦後間もなく結成された自治会、小仲台新向会の初代会長であり、稲毛駅東口、稲毛図書館や仲よし公園、小中台小学校の建設に尽力した人物である。林三蔵氏が会長を務める小仲台新向会は、政府や地域住民に呼びかけ、戦後間もない小仲台の地域に都市ガスを導入し、電話を配置し、交番を作り、学校や図書館、その他様々な施設の建設を呼びかけ、小仲台の発展には欠かせない働きをしてきた。昔の人々の、地域をよりよくしようとする思いを学び、それが現在にも受け継がれ、人々のかわりの中で自分たちの町が作られてきたことを学ばせたい。そして、この学習を通して、児童の地域社会に対する誇りと愛情を育てることを目指していきたい。

本単元では、布施丹後の事例から地域の発展に尽くした人々の苦悩や願いを学習したのち、地域の発展に影響した歴史的な事柄や、その時の人々の願いや働き・苦心をより身近に感じることができるよう、単元の後半では児童の故郷である小仲台の発展について扱う。自分たちの住んでいる地域を教材として扱うことで、より歴史的な事柄を身近に感じることができると考えた。自分たちが今住んでいる地域は、当時の人々の願いや、発展に尽くした人々の働きによって形成されていることを知ることで、地域がもっと好きになり、誇りと愛情を深めてほしいと思う。

昔の小仲台の写真を提示し、地域の様子の違いに興味をもたせていきたい。まとめでは、自分の小仲台の好きなところを「良い町小仲台マップ」に貼り、自分や友達の地域に対する思いを改めて知り、大好きな小仲台を大切にしていこうという思いをもたせたい。

3 知識の構造図



4 単元の目標

- 自分たちの住む地域が、先人の思いや願い、働きによって発展したことを理解する。
- 地域に対する誇りや愛情を深め、地域の好きなどころについて考え、適切に表現する。

5 単元の評価規準

評価の観点	評価規準
社会的事象への関心・意欲・態度	・地域に関心をもち、地域が変わってきた様子や人々の思いや願いを意欲的に調べようとしている。
社会的な思考・判断・表現	・先人や地域の人々の努力が地域の発展の陰にあることを、資料や地域の人々の話などと結び付けて考えている。 ・学習をもとに、自分の町の好きなどころを考え、表現している。
観察・資料活用の技能	・先人や地域の人々の思いや願い・努力について地域の人から話を聞いたり資料を読んだりして、ノートにまとめている。
社会的事象についての知識・理解	・地域の発展には、先人や地域の人々の思いや願い・努力があったことを理解している。

6 単元の指導計画（13時間扱い）

	過程	主な学習活動と内容	時数
第一次	つかむ	○ 石碑を読み、課題をつかむ。 ① ・ 碑文から、布施丹後はどのような人で、何をしたのかを予想する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">なぜ布施丹後は人々から感謝されているのだろうか。</div>	1
	調べる	○ 布施丹後や丹後堰について知り、さらに調べる計画を立て、まとめる。 ・ 布施丹後はどのようなことをしたのだろう。 ② ・ 布施丹後はどんな思いで丹後堰や用水路を作ったのだろう。 ③ ・ どんな道具を使って工事をしたのだろう。 ④ ・ 当時の人は、丹後堰が出来たことについてどのように思っているのだろう。 ⑤ ・ 丹後堰や用水路は、今は どうなっているのだろう。 ⑥	5
	まとめる	○ 学習のまとめをする。 ⑦⑧ ・ 布施丹後新聞としてまとめる。 <div style="border: 3px double black; padding: 5px;">布施丹後は、水害に悩む人々のために、堰や用水路を作り、水害から人々を救ったので、多くの人から感謝された。</div>	2

第二次	つかむ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小仲台の発展に尽くした先人と、町の様子の変化に興味をもち、学習計画を立てる。 ⑨ ・ 昔の地図や写真を見て、気づいたことを発表する。 ・ 昔の暮らしについて考え、町の変化の様子に興味をもち、学習問題をたてる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 小仲台の町ができあがるまでに、どのような努力があったのだろうか。 </div>	1 (本時)
	調べる	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小中台小学校や稲毛図書館、仲良し公園ができるまでを調べる。 ⑩⑪ ・ 小仲台小学校ができる前の児童数や町の様子について調べる ・ 林さんの働きかけ、建設までの苦勞を知る。 ○ 稲毛駅東口の建設について調べる。 ⑫ ・ 稲毛駅東口建設までの期間・工事費・人々の声などを調べる。 ・ 稲毛駅東口建設後の暮らしの変化や町の様子の変化を知る。 ・ 稲毛駅周辺の自転車撤去作業について知る。 	3
	まとめる	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「良い町小仲台マップ」を作る。 ⑬ ・ 学習内容を生かし、小仲台の自慢できる場所とその理由を書いた付箋（青）課題や気になる場所、より良い町にしていくためにを書いた付箋（赤）を学区地図にはり、友達と意見を交流する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 林三蔵や小仲台新向会などの地域の人々の努力によって、現在の小仲台ができあがってきた。 </div>	1

7 市教研社会科研究主題のための方策

「みえる わかる・・・いかす」
よりよい社会の形成に参画する力を育てる社会科学習

本年度主題解明のための方策（市教研社会科部会研究計画より）

- ① めざす子どもの姿、習得すべき概念、身につけさせたい力の明確化
- ② 追及意欲を高め、社会認識が深まり、参画への意識が育つ教材の開発
- ③ 主体的に学び、参画への学習意欲が高まる学習課程の工夫（問題解決的な学習の充実）
- ④ 社会認識の深まりや社会に参画する力を見取る評価の工夫

本単元では、研究主題の中から次の点に留意して指導及び評価に取り組んでいきたい。

- ② 追及意欲を高め、社会認識が深まり、参画への意識が育つ教材の開発

〈地域の歴史の教材化〉

本単元の第一次で扱う丹後堰は、現在の子供たちの生活に直結するものではない。そこで、歴史的な出来事をより身近に感じることができるよう、布施丹後の事例を学習したのち、自分たちの住んでいる町に落とし込んで歴史を考えていきたい。そうすることで、普段何気なく過ごしていた町には歴史

があることに気付き、歴史をより身近に感じることができるのではないかと考える。

また、身近な地域を取り上げることで、調べてみたいという追及意欲もより高まり、地域について改めて考えることで、社会参画への意識が高まると考える。

④ 社会認識の深まりや社会に参画する力を見取る評価の工夫

〈学習した内容をもとに、自分の思いを学習のまとめにする〉

本学級の児童は、警察署や消防署の学習をした際に、自分たちの安全を守る人々の工夫や努力を学び、それを受けて、人々はどんな気持ちで努力をしているのか、自分はこれからどうしていきたいか、ということを学習のまとめで考えている。そうすることによって、自分が地域社会の一員であることを感じることができると思う。

本単元でも学習のまとめに、学習した内容をもとに、改めて小仲台の好きなところを考えて書く活動を取り入れる。また、それを学区地図に貼って、友達の考えを知ることによって、同じ地域に暮らす者として地域に対する思いを深め、自分たちの町をもっと大切にしていこうという気持ちをもたせたい。

9 本時の指導（9 / 13）

（1） 本時の目標

○写真や資料の読み取りを通して、小仲台の町の変化・発展に関心をもつことができる。
 （関心・意欲・態度）

○当時の生活の様子について考え、表現することができる。
 （思考・判断・表現）

（2） 本時の展開

時配	学習活動と内容	○教師の支援 ◆評価の観点	資料
4	1 丹後堰建設時の先人の苦勞によって、人々のくらしが豊かになったことを振り返る。 ・人々は水害に困っていた。 ・お金や時間をかけ、手作業で工事した。 ・生活が改善され、感謝の石碑が作られた。	○水害に困っていた当時の様子と、布施丹後の丹後堰建設によって人々の暮らしが豊かになったことを確認させる。	
12	2 小仲台の昔の写真を見て、グループで気付いたことを見つける。 ・高いビルや建物がない。 ・行列ができています。	○現在の小仲台の町が豊かかどうかについて考えさせ、豊かなこの町が昔はどうだったのかを考えさせる。 ○気付いたことをノートにまとめる時間をとる。	昔の写真
12	3 小仲台の今と昔の地図を比較して、グループで気付いたことを見つける。 ・小中台小学校がない。 ・稲毛図書館や仲よし公園がない。 ・南側に住宅地が多い。	○現在ある建物や施設が、昔は無かったことに注目させる。 ◆小仲台の町の変化に関心を持ち、今と違うところを探している。【関心・意欲・態度】	現在の地図の透明シート 昔の地図
15	4 気づいたことをもとに、当時の人々の暮らしの様子について話し合い、学習問題をたてる。 ・公園がなくてどこで遊んでいたのだろうか。 ・遠くの園生小学校まで通っていたのかな。 ・毎日行列を作って学校に行ったんだね。	○学習問題につながるように、今と違うところに注目させる。 ◆当時の人々の生活の様子を想像し、表現している。 【思考・判断・表現】	
小仲台の町ができあがるまでにどのような努力があったのだろうか。			
2	5 次時の学習を確認する。	○写真や地図から読み取った小仲台の町の様子の違いを改めて確認し、次時につなげる。	